

# NY マーケットレポート (2019年5月30日)

## 2019年5月30日(木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	20942.53	-60.84	4.64%
ハンセン指数	27114.88	-120.83	4.91%
上海総合	2905.81	-8.89	16.52%
韓国総合	2038.80	+15.48	-0.11%
豪ASX200	6392.13	-47.90	13.21%
シンガポールST	3143.00	-20.28	2.42%
インドSENSEX	39831.97	+329.92	10.43%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	109.59	109.92	109.48
EUR/JPY	122.00	122.26	121.91
GBP/JPY	138.23	138.75	138.07
AUD/JPY	75.75	76.17	75.64
EUR/USD	1.1132	1.1143	1.1116
BRL/JPY	27.450	27.676	27.342
RUB/JPY	1.674	1.684	1.669

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7218.16	+32.86	7.28%
仏CAC40	5248.91	+26.79	10.95%
独DAX	11902.08	+64.27	12.72%
スペインIBX35	9157.80	+77.30	7.24%
イタリアFTSE MIB	19947.92	-52.02	8.86%
トルコ・イスタンブール100	90011.62	+2825.32	-1.38%
ロシアRTS	1286.52	+10.60	20.38%
南ア全株指数	55700.59	+703.25	5.62%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1292.40	+6.10	0.87%
NY 原油	56.59	-2.22	24.62%
CBOTコーン	436.25	+17.50	16.33%
CRB指数	178.762	-1.577	5.28%
ドル指数先物	98.142	-0.002	2.05%
VIX指数	17.30	-0.60	-31.94%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25169.88	+43.47	7.90%
S&P500	2788.86	+5.84	11.25%
NASDAQ	7567.72	+20.41	14.05%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16089.24	-42.24	12.33%
メキシコ・ボルサ指数	43345.82	+491.06	4.10%
ブラジル・ボベスパ指数	97457.36	+890.81	10.89%

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	8475	8650
CME Bitcoin(先物・期近)	8460	8655
Ripple (BSTP)	0.429	0.446
Ethereum (BSTP)	263.14	269.66
Bitcoin Cash	439.52	454.55

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.164%	-0.171%
5年債	-0.178%	-0.188%
10年債	-0.079%	-0.090%
30年債	0.486%	0.467%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	-0.175%	-0.179%
英国10年債	0.897%	0.892%
フランス10年債	0.240%	0.230%
米国債利回り		
2年債	2.061%	2.109%
3年債	2.005%	2.056%
5年債	2.020%	2.069%
7年債	2.115%	2.160%
10年債	2.213%	2.260%
30年債	2.640%	2.693%

x一部暫定値

### 5/31 経済指標スケジュール

08:30	【日本】4月失業率・4月有効求人倍率
08:30	【日本】5月消費者物価指数[東京都区部]
08:50	【日本】4月小売売上高・4月百貨店・スーパー販売額
08:50	【日本】4月鉱工業生産
10:00	【中国】5月製造業PMI・非製造業PMI
13:00	【日本】3月自動車生産
14:00	【日本】5月消費者態度指数
14:00	【日本】4月住宅着工戸数・4月建設工事受注
15:00	【ドイツ】4月小売売上高
15:30	【スイス】4月実質小売売上高
16:00	【トルコ】1Q GDP
16:00	【トルコ】4月貿易収支
17:30	【英国】4月消費者信用残高
17:30	【英国】4月住宅証券融資高
17:30	【英国】4月住宅ローン承認件数
17:30	【香港】4月小売売上高[価額]
21:00	【ドイツ】5月消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】4月貿易収支
21:30	【米国】4月個人所得・4月個人支出
21:30	【米国】4月PCEデフレーター
21:30	【カナダ】1Q GDP
21:30	【カナダ】4月鉱工業製品価格4月原料価格指数
22:45	【米国】5月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米国】5月ミシガン大学消費者信頼感指数

### 5/31 主要会議・講演・その他予定

・ニューヨーク連銀総裁 講演

## NY 市場レポート

### ◀ NY 市場概況 ▶

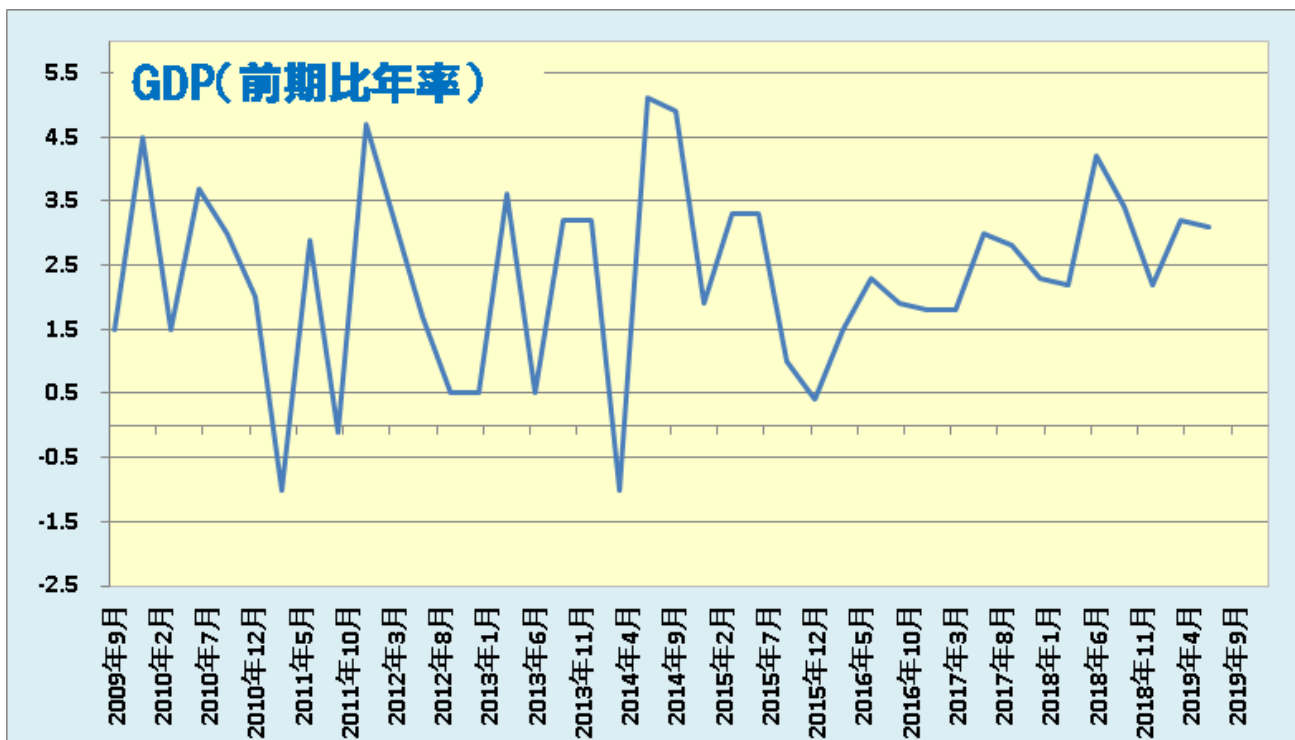
NY 市場では、トランプ米大統領が中国との交渉は上手くいっていると発言したことを受けて、米中貿易摩擦激化への懸念が和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなり、ドル/円は 109.92 まで上昇、1 週間ぶりの高値を付けた。その後、クラリダ FRB 副議長が、金融政策を調整する可能性に言及するなど、ハト派的な発言をしたことや、米国債利回りが低下したこと、さらにペンス副大統領が、「米国は必要なら対中関税を倍以上にできる」と発言したことを受けて、ドル売りが強まり、ドル/円は一時 109.48 まで下落した。

### 主要な米経済指標結果

1Q GDP (前期比年率) 3.1% (予想 3.0%・前回 3.2%)

1Q 個人消費 (前期比) 1.3% (予想 1.2%・前回 1.2%)

1-3 月期の米 GDP 改定値は、速報値から下方修正された。個人消費は速報値から若干上方修正されたものの、設備投資や住宅投資が下方修正されたことが影響した。GDP の約 7 割を占める個人消費は+1.3% (速報値 +1.2%) と上方修正されたが、設備投資が+2.3% (+2.7%)、住宅投資が-3.5% (-2.8%) と下方修正された。また、輸出は+4.8% (+3.7%)、輸入は-2.5% (-3.7%)。FRB が物価の目安とする個人消費支出 (PCE) 物価指数は、前年比+1.4%となり、FRB の目標である 2%を大きく下回った。

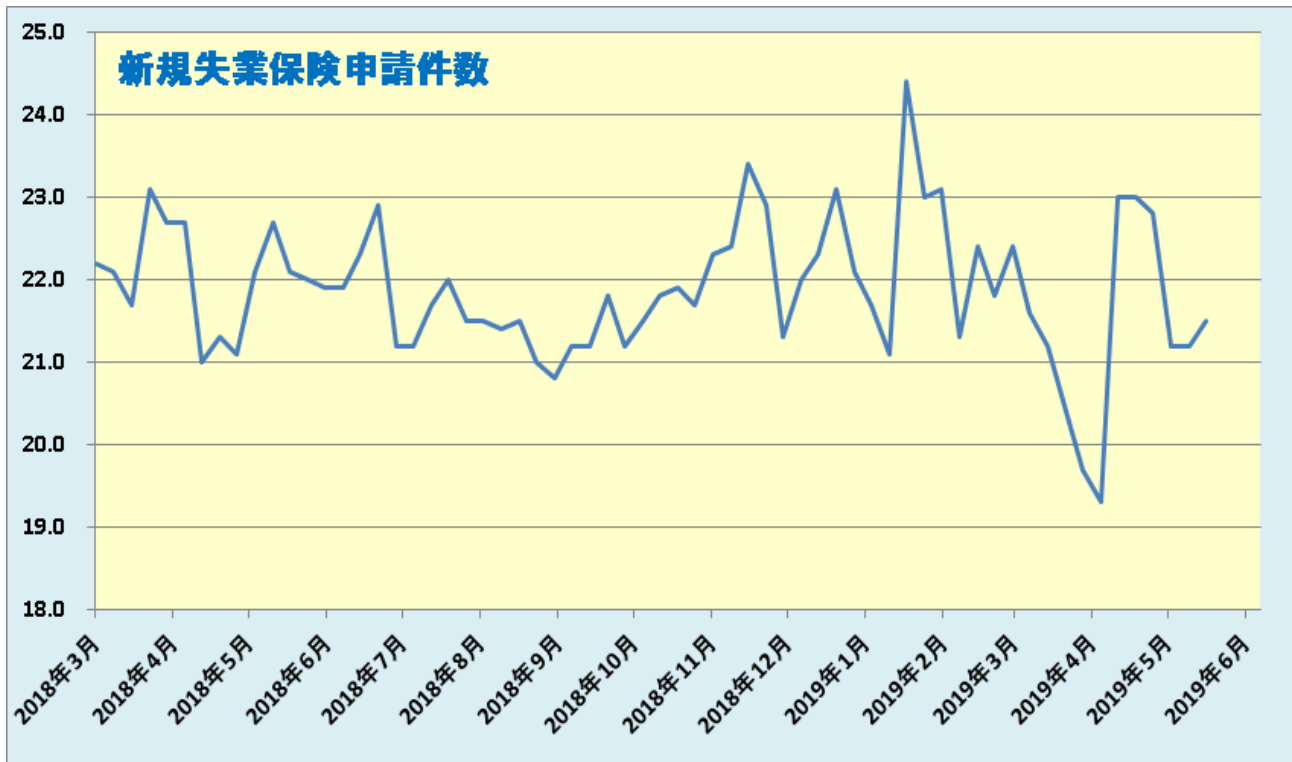


データを基に SBILM が作成

**新規失業保険申請件数** 21.5 万件（予想 21.4 万件・前回 21.1 万件⇒21.2 万件）

**失業保険継続受給者数** 165.7 万人（予想 166.2 万人・前回 167.6 万人⇒168.3 万人）

米失業保険申請件数は、前週比+0.3 万件となり、市場予想を若干上回った。労働市場の流れをより正確に反映するとされる申請件数の 4 週移動平均は、前週比-3750 件の 21 万 6750 件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-2.6 万人の 165.7 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比-3500 人の 167 万 2500 人だった。

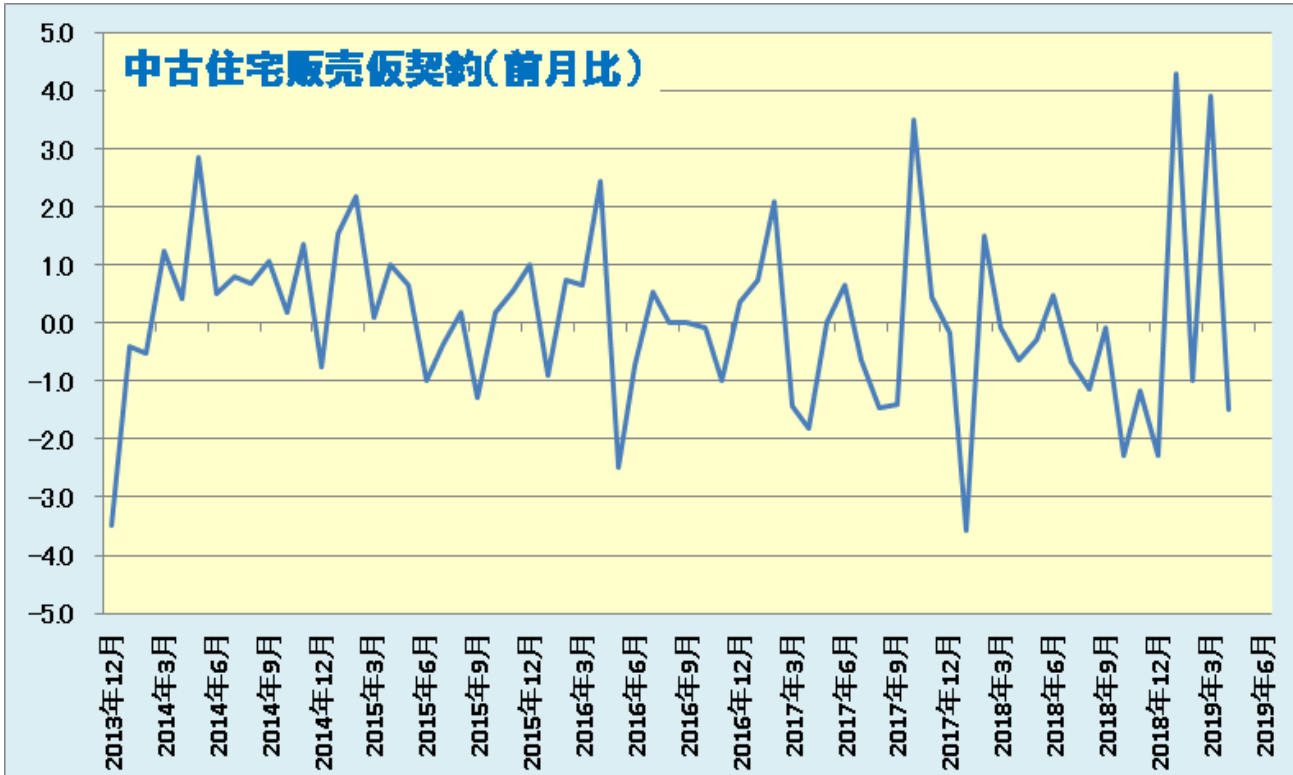


データを基に SBILM が作成

**4 月中古住宅販売仮契約（前月比）** -1.5%（予想 0.5%・前回 3.8%⇒3.9%）

**4 月中古住宅販売仮契約（前年比）** 0.4%（予想 -0.2%・前回 -3.2%⇒-3.1%）

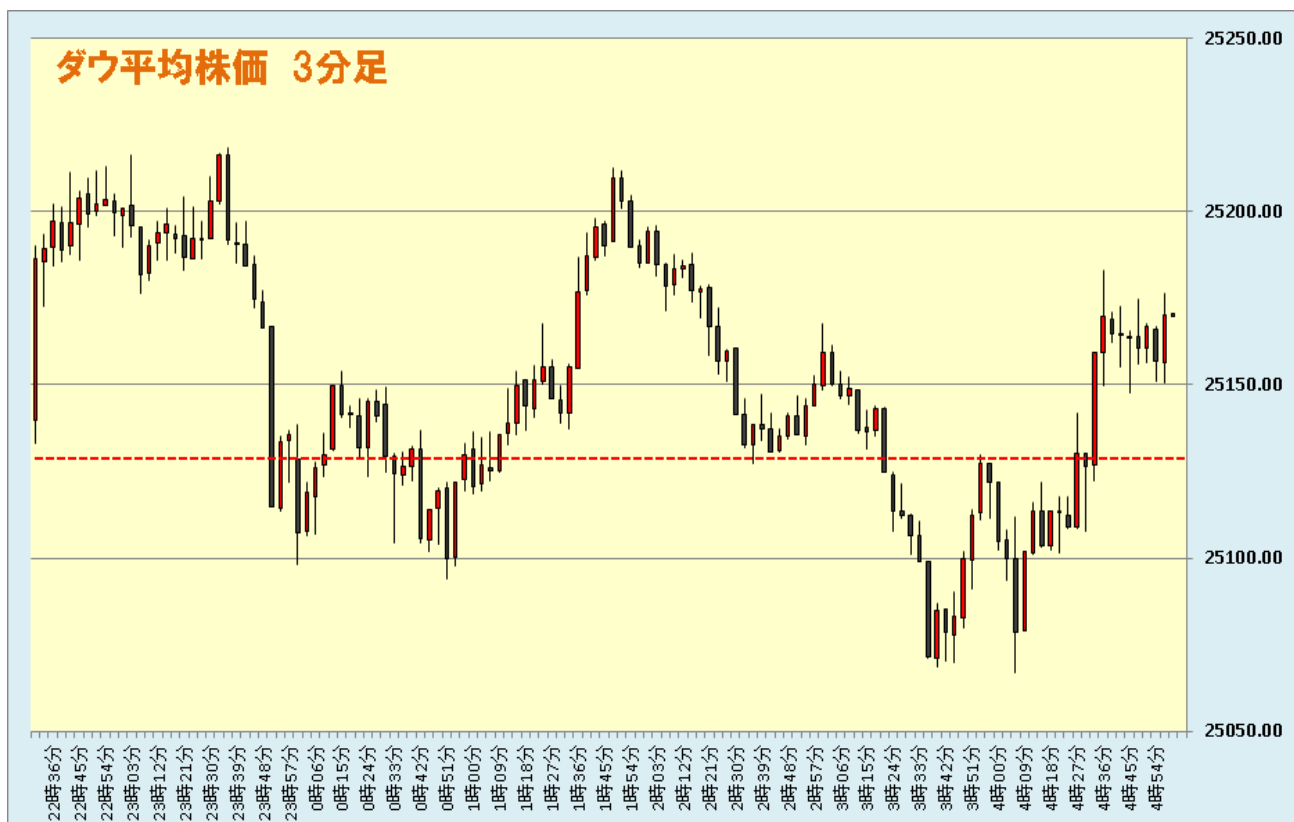
4 月の米中古住宅仮契約は、前月比が市場予想を下回り、昨年 12 月以来のマイナス幅となった。地域別では、南部が-2.5% (4.4%)、北東部が-1.8% (前月-1.7%)、西部が-1.8% (8.8%) と低下したが、中西部は+1.3% (+2.6%) とプラスを維持した。仮契約は、通常 1-2 ヶ月以内に本契約に移行することから、仮契約は中古住宅市場の先行指数とされている。



データを基に SBILM が作成

### 米主要株価指数は反発、ダウ平均株価 3 営業日ぶりに反発

米株式市場は、ダウ平均株価が前日に約 3 ヶ月半ぶりの安値を付けるなど、前日までの下落に対する反動から、主要株価指数は序盤から買い戻しが先行した。ただ、米中貿易摩擦に対する懸念が根強い中、米副大統領が必要なら対中関税を倍以上に引き上げると発言したことから、主要株価指数は一時マイナス圏まで下落する場面もあった。しかし、終盤にかけては再び堅調な動きとなり、小幅反発となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比 92 ドル高まで上昇した。その後、一時 59 ドル安まで下落する場面もあったが、結局 43 ドル高で終了し、3 営業日ぶりに反発となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは 20 ポイント高で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	0.94%	1	マクドナルド	1.64%
2	消費者サービス	0.66%	2	コカ・コーラ	1.32%
3	ヘルスケア	0.48%	3	インテル	1.13%
	石油・ガス	-0.84%		シェブロン	-1.19%
	通信サービス	-2.32%		ベライゾン	-2.32%

データを基に SBILM が作成

## ドル円は一時 109.92 まで上昇も、その後は失速

トランプ米大統領が中国との交渉は上手くいっているとの発言や、ポルトン米大統領補佐官が米国はファーウェイについて最終決定を下したわけではないとの発言を受けて、米中貿易摩擦激化への懸念が和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなり、ドル/円は 109.92 まで上昇し、1 週間ぶりの高値を付けた。一方、イタリアのサルビーニ副首相が、優先政策が果たせない場合には、連立政権離脱も辞さないとの発言したことが影響し、ユーロは序盤に対ドルで 1 週間ぶりの安値まで下落したこともドルの下支え要因となった。その後、クラリダ FRB 副議長が、金融政策を調整する可能性に言及するなど、ハト派的な発言をしたことに加え、原油価格の急落や米 10 年債利回りが 2.2745% から 2.2098% まで低下したことが影響し、ドルは軟調な動きとなった。さらに、ペンス米副大統領が、米国は必要なら対中関税を倍以上にできると発言したことからドル売りが強まり、ドル/円は一時 109.48 まで下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。